

2023年度事業計画書（概要）

部署名： _____ 短期大学

重点項目 (最低3つ最大5つ)	1.	戦略的學生募集活動の充実
	2.	教育の質の向上を目指した取組の継続
	3.	学生支援の充実と学修・生活環境の整備
	4.	地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実
	5.	地域課題解決に向けた取組

重点項目1.		
重点項目名	戦略的學生募集活動の充実	
事業の種類①	既存事業の継続・改善	
事業の種類②	中期計画の実現	
事業の目的と実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の4年目にあたる。社会の動向・大学に求められるニーズを踏まえ、戦略的に学生募集活動を展開することを目的とし、高大接続の内容充実と強化を図り、中学生への戦略的広報活動を継続的に展開する。また、進学相談会・高校訪問を強化充実する。さらに、より多様な志願者を想定し、選抜方法のさらなる見直し・改善を行う。</p>	
最終目標	18歳人口が減少する中においても、地域に貢献する専門職を目指す入学者数を維持する。	
当該年度	5 ヶ年計画	4 年目

重点項目2.		
重点項目名	教育の質の向上を目指した取組の継続	
事業の種類①	既存事業の継続・改善	
事業の種類②	中期計画の実現	
事業の目的と実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の4年目にあたる。教育の質の向上を図ることを目的とし、卒業時の質保証の取組の強化（PROPERTIES）を継続し、真に社会に貢献する専門職像を明確にしたうえで、3つのポリシーを軸とした教育活動を展開する。また、外部機関と連携した地域の課題解決型学習を推進し、アクティブ・ラーニングの充実を図り、FD活動を通じた授業改善を継続する。さらに、アクティブ・ラーニングを前提としたICT環境整備の一環として、コンピューター実習室の仕様の見直しを行うとともに、学生個人用ノートパソコンの携帯を推奨する体制を整備していく。教務システムやLMSの見直しの検討を継続するとともに学修歴証明のデジタル化も進める。</p>	
最終目標	高等教育教育が目指すものを踏まえながら専門職養成としての教育の質を向上させ、真に社会に貢献する専門職としての知識・実践力・総合的人間力を学生が身に付ける。	
当該年度	5 ヶ年計画	4 年目

重点項目3.		
重点項目名	学生支援の充実と学修・生活環境の整備	
事業の種類①	既存事業の継続・改善	
事業の種類②	中期計画の実現	
事業の目的と実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の4年目にあたる。学生の心身の健康・安心安全・多様性等に配慮した学生支援の充実を図ることを目的に、学修・生活環境を整備する。これまで実施してきた入学時スクリーニング調査（UPI）の活用の体制を継続展開し、全学一斉（食物栄養科・保育科・専攻科保育専攻）の防災訓練も強化する。また、系列大学と連携し、酒折キャンパスの危機管理体制の見直し・改善を図る。多様な学生の支援体制の見直し・改善の一環として、障がい学生支援に向けた体制整備を進め、「高等教育の修学支援制度」「ポラーノ」「専攻科特待生制度」等の修学支援制度の活用を継続する。さらにSA制度による障がい学生の支援に対応するピア・サポート制度の充実、学友会を中心とした課外活動の振興を継続的に図る。学生参画の自己点検評価を踏まえて、より安全で安心な生活環境を整備する。</p>	
最終目標	学生が健康に、安心して学生生活を送れる体制を完成する。	
当該年度	5 ヶ年計画	4 年目

重点項目4.			
重点項目名	地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実		
事業の種類①	既存事業の継続・改善		
事業の種類②	中期計画の実現		
事業の目的と実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の4年目にあたる。学生の自己実現を目指し、地域と連携した就職・キャリア支援体制の充実を図ることを目的とした就職キャリア支援を継続する。また、卒業生および卒業生の就職先等の組織と就職支援活動において連携可能な体制を強化する。卒業生へのキャリア支援についても継続推進する。</p>		
最終目標	学生の自己実現につながる就職支援を行う。		
当該年度	5	ヶ年計画	4 年目
重点項目5.			
重点項目名	地域課題解決に向けた取組		
事業の種類①	既存事業の継続・改善		
事業の種類②	中期計画の実現		
事業の目的と実施内容	<p>本事業は、短期大学の5か年中期計画の4年目にあたる。専門職養成機関として、地域課題解決に向けた各種事業の推進を図ることを目的とし、地域と連携した教育・研究の取組みを推進する。これまで締結してきた自治体、企業等との連携協定に基づき各種事業を実施するとともに、ホームカミングデイ事業等を通して、食と健康、保育・教育・福祉の分野における卒業生の学び直し・専門職の学び直しの機会としての研修会を企画実施する。地域住民に向けた学びの機会となる公開講座等について、テーマを厳選したうえでさらなる拡充を図る。また地域に向けた情報発信強化のため、地域連携研究センターのICT環境を整備するとともに、本学ウェブサイトの見直し・改善を継続的に行う。</p>		
最終目標	本学教員が地域ニーズを理解し地域に貢献し、学生が真に社会に貢献する専門職となっていくための教育活動の機会を増やす。		
当該年度	5	ヶ年計画	4 年目